

空き家、その建築的特徴を見る目を養う。



建築家講演會 渡邊義孝

2019年2月9日(土)

13:30~16:30 13時より受付

13時より受付

NPO法人尾道空き家再生プロジェクトは、2007年春
代表・豊田雅子氏が旧和泉家別邸を購入するところから
始まる。渡邊義孝氏は豊田氏に頼まれ建物の実測をした。
その調査の結果を資料とし2013年12月24日、国の登録
有形文化財に登録され、現在、工事が佳境を迎えている。
ひとつひとつのディテールを丁寧に拾って、建物の特徴
を褒め共通言語を得ることが、尾道の斜面地で、空き家
再生の雰囲気を作つていった。講演会では、渡邊義孝氏
に、尾道の空き家再生の話を中心に、古い建物の愛で方
を語つて頂き、岡崎の空き家再生について言及する。



【渡邊義孝氏プロフィール】

一級建築士。尾道市立大学非常勤講師。

東アジア日式住宅研究会会員。

1966年京都府生まれ。千葉県立船橋高校卒。

型枠大工を経て鈴木喜一建築計画工房に入所

2004年「風組·滙邊設計室」成立

2008年 NPO法人尾道空き家再生プロ

2013年 旧和泉家別邸 玄はらし亭の文化財登録を手掛

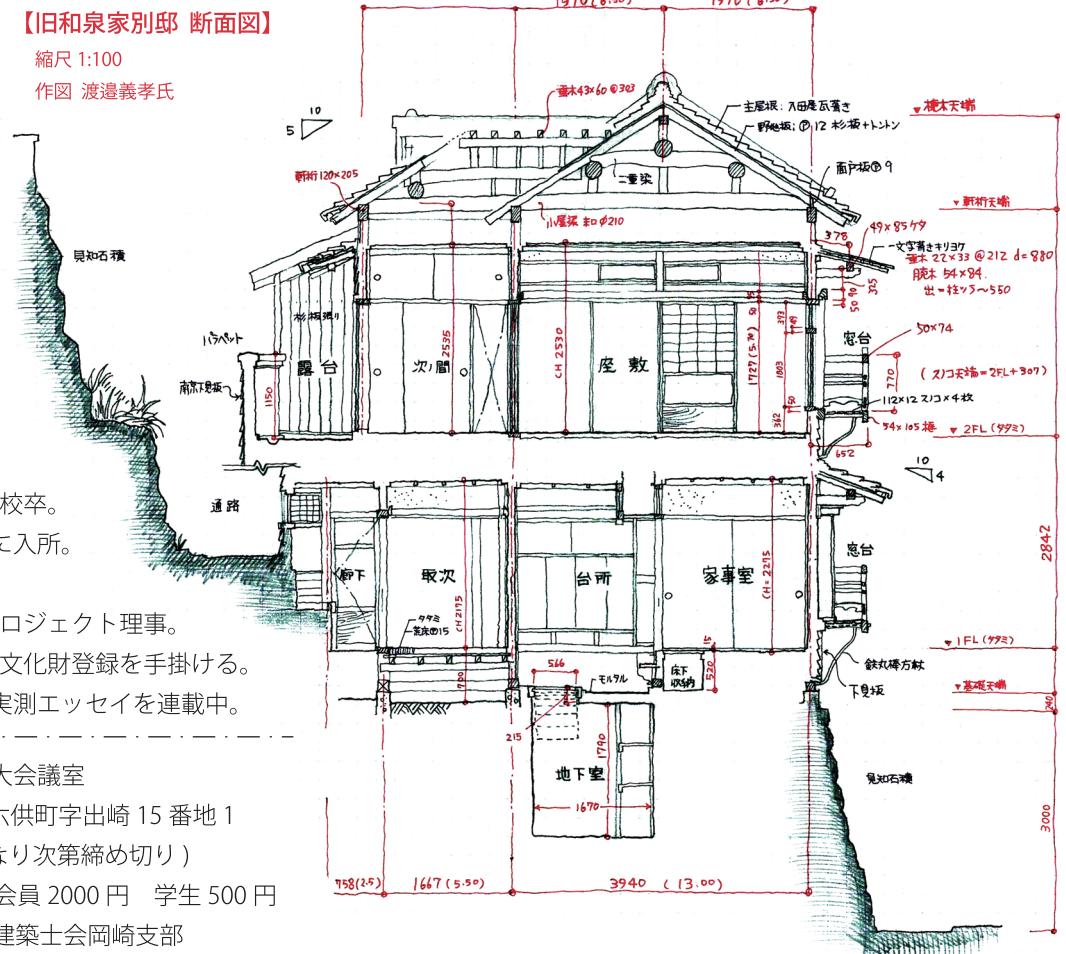
2013年1月号より強調「はうす」の文化財立録を手掛け。インテリア雑誌「シフォルト」にて実測エッセイを連載中。

「ソノノコ組合「コンソオルト」にて実効工法にて連載中。

会 場　岡崎市民会館 会議棟 2F 大会議室

〒441-0072 愛知県岡崎市立併町字

募集人数	120名（先着順/定員となり次第締め切り）
参加費	建築士会会員 1000円 非会員 2000円 学生 500円
主 催	景観整備機構（公社）愛知建築士会岡崎支部
申込方法	メール / FAX / google フォームより 詳しくは裏面をご覧ください。





撮影：西川真理子



撮影：渡邊義孝

【旧和泉家別邸】 *kyūizumike-bettei*

ひとりの大工が3年かけて建てたという小住宅。1933年築。木造二階建。下見板張の和館に、昭和前期当時のハイカラであった洋館が付属する。変形の小敷地を巧みに利用しており、二階八畳座敷や階段の造作も丁寧である。和館部は、入母屋屋根に切妻破風や小庇、露台をつけ、その変化に富んだ屋根構成から、通称・尾道ガウディハウスと呼ばれる。近代和風建築がその技術の最高潮を迎えていた昭和初期の造形の規範となる遺構であるとともに、その立地と眺望において坂の町尾道を代表する歴史的景観のひとつである。

→写真、図面は表面に掲載。

【みはらし亭】 *miharashi-tei*

尾道千光寺の下の斜面地にそびえる大正時代の茶園建築。仕出し旅館として使われたのち、30年近く空き家に。脱空き家を考えるワークショップを2010年に開催し、2016年春、カフェ+ゲストハウスとして再生された。

【松翠園】 *shōsuien*

尾道駅裏の斜面地に立つ大型旅館。2010年廃業。大広間は折上格天井を有し50畳の大空間を誇る。2015年春から定期的に、掃除やメンテナンスを行う。2018年秋、台湾からゲストを招きトークショーを開催。

【アクセス】 可能な限り公共交通機関をご利用ください。

電車：名鉄東岡崎駅

→名鉄バス2番線乗車→籠田公園前乗車降車→徒歩約5分
※バス乗り場は、地下改札を出て右手です。

愛知環状鉄道中岡崎駅

→岡崎市コミュニティバス「まちバス」東西ルート乗車
→籠田公園降車→徒歩約5分

徒歩：名鉄東岡崎駅より北へ約20分（約1.2Km）

車：市営籠田公園地下駐車場 101台

※駐車券を市民会館受付までお持ちください。
3時間無料になります。

【申込方法】

(1). メールの場合

建築士会岡崎支部

<kenchikushi.okazaki@gmail.com>まで

氏名、所属、連絡先をお送りください。

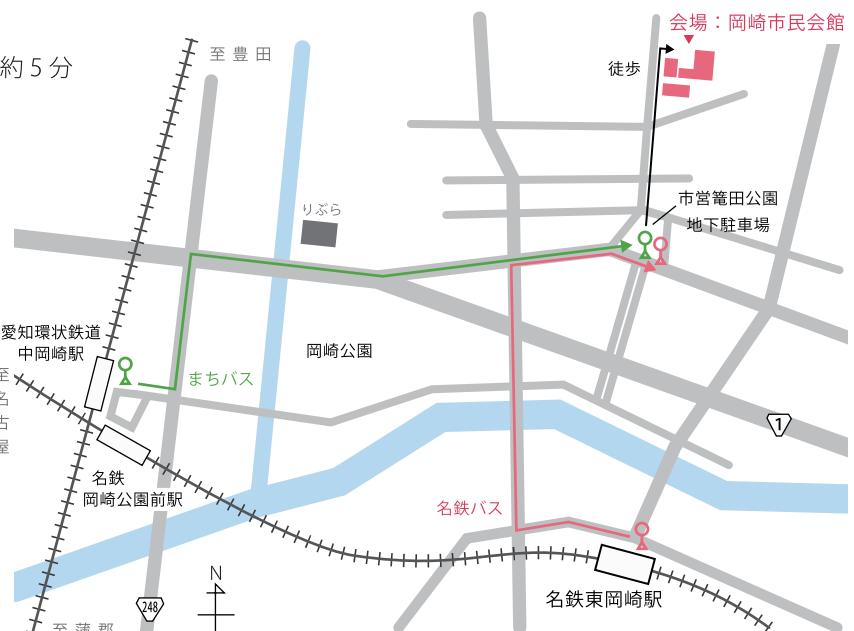
(2). FAXの場合

0564-73-3174（落合建築デザイン商店）まで

氏名、所属、連絡先をご記入の上お送りください。

(3). google フォームの場合

右記QRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。



氏名 _____

建築士会支部名
(又は所属)

TEL(FAX) _____

MAIL _____

※学生の方は、講演会当日学生証をお持ちください。

申込が定員に達した場合、受付が出来ない旨の返信を致します。

